



## 学外イベント紹介（現高校1年生・2年生対象）

**NO.63**

今回は保険会社のAIG（旧AIU）が主催する国外・国内のプログラムをご紹介します。来年の夏に実施される企画ですが選考を伴う関係で例年この時期に情報が公開されます。興味ある生徒諸君はぜひ検討してみてください。詳細は公式ホームページ [highschooldiplomats.org/index.html](https://highschooldiplomats.org/index.html) をご覧下さい。以下主な情報をご紹介します。

### ① AIG 高校生外交官渡米プログラム

期間：2019年7月16日（火）～8月6日（火）

7月16日にオリエンテーション会場集合、7月18日渡米

8月5日帰国・都内宿泊 8月6日昼に解散

派遣先：ワシントンDC（国務省、国防総省、議会議事堂、IMF／世界銀行、議会図書館 等  
ニューヨーク（国連、ハーレムでのボランティア、9・11メモリアル、MoMA 等

主な行事：上記の訪問以外にホームステイ（ヴァージニア州周辺）

エクスチェンジ

米国高校生とルームメイトとなり、プリンストン大学の寮で共同生活をしながら様々なアクティビティを体験する。

午前は語学と文化を学び、午後は自国紹介をするプレゼンテーション 等

人数：40名（男女各20名）

男子校の場合は後述日本プログラムと併せて1校から最大4名まで応募可能

費用：無料

但し、空港までの交通費、パスポート取得、ESTA申請 等は個人負担

条件(抜粋)：プログラム実施時に高校2学年又は3学年に在学している者

所属学校長の推薦を受けた者

事前合宿及びプログラム期間中、集合から解散まで全てのプログラムに他の参加生徒と一緒に参加できる者

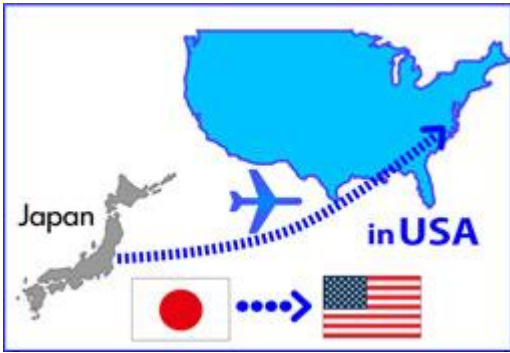
中学校入学以降、合計365日以上海外滞在体験を持たない者

AIG損害保険会社並びにAIGグループ会社の関係者の家族でない者

選考：1次 書類選考

2次 英語試験、面接（原則英語）、グループ実習

3月16日（土）、17日（日）、21日（木・祝）のいずれか指定された日



渡米プログラム  
昨年の様子

② AIG 高校生外交官日本プログラム

期間：2019年7月25日（木）～8月6日（火）

会場：関西セミナーハウス（京都市左京区）

7月25日（木）昼頃に京都市内に集合、8月6日（火）午前解散

内容：米国より選抜された高校生と日本国内での共同生活を通し、「高校生外交官」として国際交流を体験する。

主な行事：クラブ活動

日本文化のクラブに所属。日本側参加者がリードして米国側参加者が日本文化を習得。

ディスカッション

日米参加者が教育、政治、社会問題等について議論する。

プレゼンテーション

日米参加者がテーマ別のグループに分かれ、自国を英語で紹介し合う。

語学・文化クラス

米国の教師による語学と文化を学ぶクラス。

その他

京都史跡巡り、アメリカ文化体験、ダンスパーティー、スポーツ大会 等

人数：20名（男女各10名）

男子校の場合は前述の渡米プログラムと併せて1校から最大4名まで応募可能

費用：無料（新幹線代も含む）

但し、新幹線に乗るまでの交通費、スーツケース送料 等は個人負担

条件(抜粋)：プログラム実施時に高校2学年又は3学年に在学している者  
所属学校長の推薦を受けた者  
事前合宿及びプログラム期間中、集合から解散まで全てのプログラムに他の参加生徒と一緒に参加できる者  
海外渡航体験は問わない。

AIG 損害保険会社並びに AIG グループ会社の関係者の家族でない者

選考：1次 書類選考

2次 英語試験、面接（原則英語）、グループ実習

3月16日（土）、17日（日）、21日（木・祝）のいずれか指定された日



日本プログラム  
昨年の様子

## AIG 高校生外交官プログラム校内での募集

複数名の応募があることが想定されますので、校内での募集締め切りは1月12日（土）の午後1時とします。当然のことながら期限厳守でお願いします。3号館1階グローバル教育部にエッセイを提出して下さい。金曜日は常駐の教員が不在となりますので注意して下さい。

エッセイの書式はAIG 高校生外交官プログラムの公式HP内からダウンロードできます。書式をプリントアウトした後に「手書きで記入する」ことが求められています。筆記用具はボールペンを使用して下さい。鉛筆不可とします。また、①渡米プログラムのみを希望する②日本プログラムのみを希望する③両方を併願するかによって使用する用紙が異なりますので注意して下さい。応募人数が4名を超えた場合には校内選考を実施します。

## 英語4技能試験の動向

2020年からの新しい大学受験制度における英語4技能試験について前回は東京大学の動向をお知らせしましたが、国立大学数校についての情報をお知らせします。大学によって対応が分かれているのが現状ですので、目先の情報に振り回されることなくまずは日々やるべきことを着実に積み重ねていくことを心掛けていただきたいと思います。以下は各大学の公式HPより引用。

### 東北大学

本学では英語4技能の修得を重視しており、受験に当たっては「CEFRにおけるA2レベル以上の能力を備えていることが望ましい」ことを出願基準とします。②ただし、この出願基準は出願に当たって英語認定試験の受検とその結果提出を求めるものではありません。本学は英語認定試験の受検とCEFRのA2レベルの成績を志願者全員に求める「出願要件」とはしません。また英語認定試験成績をCEFR対照表に基づいて点数化し、これを合否判定に用いることもしません。

### 名古屋大学

一般入試の全志願者にCEFR対照表のA2レベル以上に相当する英語力を出願資格として求めます。A2レベル以上であることは、認定試験の成績又は高校の調査書等の記載を利用して確認します。

### 大阪大学

新テストの枠組みにおける5教科7科目の位置づけとして、独立行政法人大学入試センターが大学入試英語成績提供システムへの参加要件を満たしていると確認した資格・検定試験（以下「認定試験」という。）を一般選抜の受験者に課すとともに、2023年度までは、センターの新テストにおいて実施される英語試験を併せて課します。認定試験の成績は、本学への出願資格として活用し、出願資格の具体的な基準は、CEFRの対照表において「A2」レベル以上とします。